

アメリカの女優、ダイアン・キートン(73)が世界に知られるようになったのは、「ゴッドファーザー」(1972年)でした。以後、半世紀近く、現役で女優を続けています。

40代に入ると出番を失っていく同業者が多い中、キートンは50代、60代、そして70代と新鮮さを失うことなくスターであり続けています。60歳近

【ダイアン・キートン】

くでラブコメディ「恋愛適

齢期」のヒロインを演じて大ヒットさせたのも「快拳」でした。現在では、インスタグラムでも注目を集め、110万ものフォロワーをユニークな投稿で楽しませつつ、新たなファンを獲得しています。

キートンの人気を支える土台の一つは、遊び心たっぷり彼女のファッションセンス

です。

78年、アカデミー賞主演女優賞を獲得した「アニー・ホール」では、キートンの実際の

の好みが反映されたという映画衣装が伝説となりました。メンズサイズのベストにパンツ、ラルフ・ローレンのネクタイというマニッシュなスタイルは

「アニー・ホール・ルック」と名付けられ、模倣者が続出しました。以後、女性のパンツスタイルが一気に大衆的な

人気を得たことから、その

影響力の大きさがうかがわれます。

スクリーンを離れても、ポ

Style アイコン

ヘミアン、レトロ、ナード(オタク風)、何でもあり。正統派のテラードスタイルやスカートルックであっても、ハット、メガネ、ベルト、靴下など予測不能

な小物使いでひねりを加え、時にわざとバランスを崩して、ユーモアのあるコーディネートを披露してくれます。

キートンの装いは、どの年

代のものを切り取っても、まったく古びて見えません。共通する要素は、流行に迎合せずオリジナルな感覚をさらけ出していること、押しつけのないあたたかなユーモアがあること、そして常にスマイルと共に着こなしていること。女性としてのエイジレスな魅力の秘訣もまさにこの3点、自信とユーモアとスマイルにあることに気付かされます。

(エッセイスト 中野香織)

古びないスター 装いも魅力も